Good Neighbors Japan

グッドネーバーズ・ジャパン

年次報告書

2017

2017.1-2017.12

ごあいさつ

日頃より私どもグッドネーバーズ・ジャパンにご支援・ご協力くださっている皆様にあらためて感謝を申し上げます。今年も、昨年の活動をまとめた「年次報告書」を皆様にお届けいたします。

国際 NGO グッドネーバーズ・インターナショナルは昨年も、全世界で 138 万人以上の子ども達に教育支援を、また子どもと子どもを取り巻く地域住民を対象に医療、収入向上支援など様々なプログラムを実施しました。

その日本法人であるグッドネーバーズ・ジャパンは、アジア・アフリカにおける子どもの教育支援を中心とした地域開発や、災害時の緊急支援などを実施しておりますが、昨年はグッドネーバーズ・ジャパンとしては初めての難民支援を行いました。ミャンマーでの暴力から逃れ、隣国バングラデシュへ避難したロヒンギャ難民のために、2 カ所の難民キャンプにおいて 2,400 世帯に衣類や日用品を配布しましたが、その悲惨な状況は、これまで何度も自然災害の現場で緊急支援をしてきたスタッフも言葉を失うものでした。

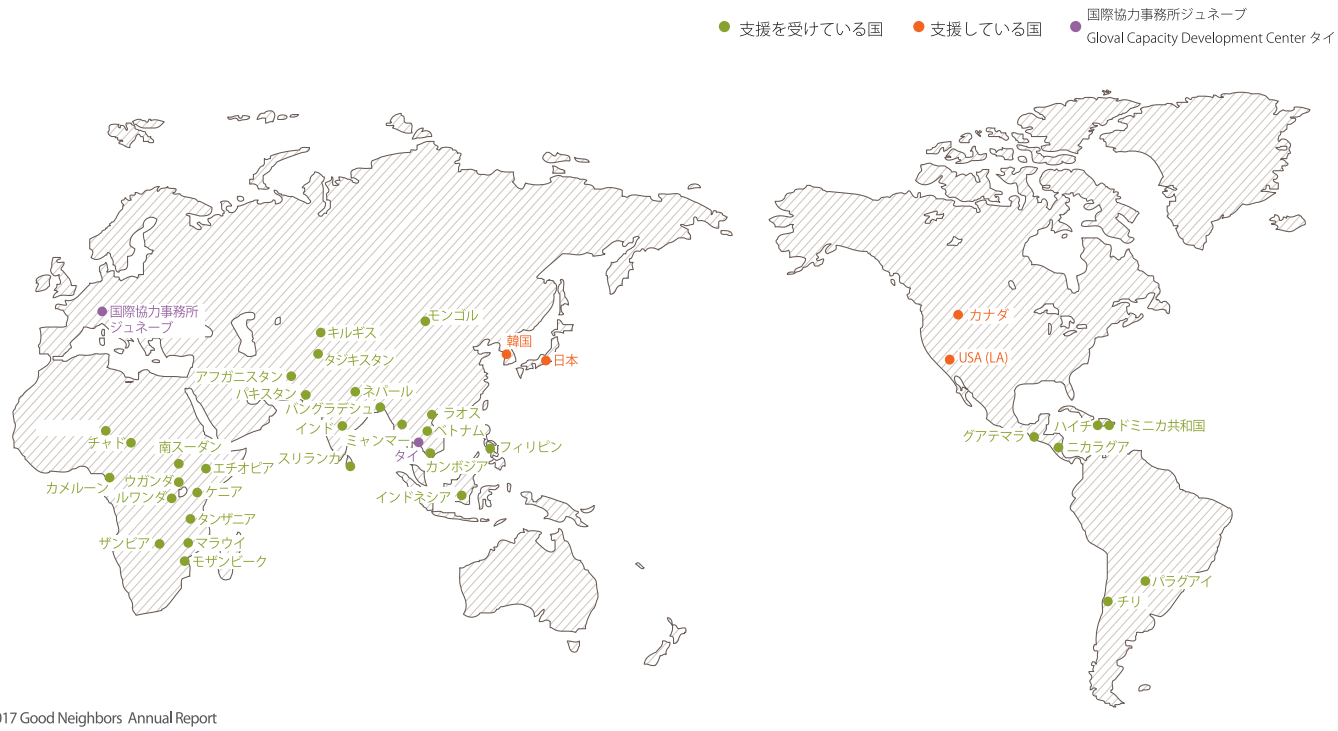
このようにグッドネーバーズ・ジャパンはこれまで海外の貧困や教育の問題に取り組んで参りましたが、日本国内でもひとり親世帯の子どもの貧困率は 50.8%（H27/ 厚生労働省）と、見過ごすことはできない状況にあります。私達はまずこの「ひとり親世帯」へ焦点をあて、2017 年より新たに、毎月無料でカゴいっぱいの食品を配布する「グッドごはん」を始めました。まだ事業を開始したばかりで食品を渡せる範囲が限られていますが、今後は支援を必要としている、より多くの子どもとその家族に、栄養のある食べ物を提供したいと考えています。

国内外を問わず、子どもたちの将来・可能性がその生まれた環境によって左右されることのない社会をつくるために、今後とも、継続的なご関心・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

福井 裕

グッドネーバーズ・ジャパン代表理事
東京大学教授

活動地域



活動分野

2017年の成果

35ヵ国、192ヵ所での地域開発プロジェクト
支援している国4ヵ国（韓国、アメリカ、日本、カナダ）

2017年度収支　194,088,925 ドル

地域開発プロジェクト

支援を受けた子ども
204,117人

参加した地域住民
1,721,596人

教育・保護
1,380,941人

保健・衛生
2,251,151人

収入向上支援
57,414世帯
4つの社会的企業

アドボカシー
430,183人

緊急（復興）支援
198,164人
12ヵ国 17プロジェクト

教育

2017年の成果

教育の機会を広げる

学校や設備への支援

845,139人

HOPE SCHOOL

49,681人

学費、学用品支援

298,736人

教育の質向上

教職関係者研修

21,585人

教育の権利促進

165,800人

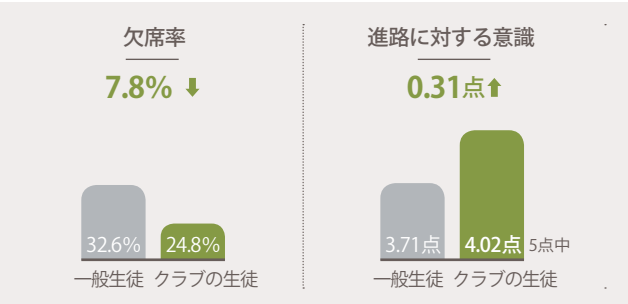
ホープスクール　Hope School Project

ホープスクールは
アフリカの未来

ホープスクールは、アフリカの子ども達により良い教育の機会を提供することを目的としたプロジェクトです。2009 年にグッドネーバーズの広報大使に就任した故パク・ヨンハさんがチャド共和国での学校建設を呼びかけ、2010 年に「ヨナスクール」が開校。グッドネーバーズのほか 5 つの NGO が韓国のテレビ局 SBS と協力し、2017 年 3 月には 100 校目のホープスクールがタンザニアに開校しました。
現在は約 5 万人の子どもたちが、アフリカの各国のホープスクールで学んでいます。

マラウイの『希望クラブ』

2013 年に建てられたマラウイのヤムピウィ ホープスクールには、1,272 人の子どもたちが通っています。グッドネーバーズが作った『希望クラブ』では、子どもの権利や HIV/AIDS、早婚、進路など、多様なテーマの活動に参加することができます。調査ではクラブに参加した生徒は一般生徒に比べ欠席率が低く、進路や市民活動に対する意識が高いだけでなく、彼らの両親の教育や子どもへの関心と協力も高いことがわかりました。



“　希望クラブで早婚や子どもの権利に対する認識が変わり、自分の権利は自分で守ること、その方法も学びました。友達と進路の悩みを相談し合うこともできて、先生という夢に一歩近付いた、かな？
カーサム・ウィルリ / マラウイ ヤムピウィホープスクール”

インド　India

サマーキャンプで
忘れられない思い出を

グッドネーバーズ・インドのチクジャラ CDP*では 625 人の子どもたちの教育支援を行っています。
これらの子どもたちにスクールバッグや、靴・制服・教科書などを提供したほか、奨学金プログラムや補習授業を行い、学習を続けられるよう支援しました。また、『学校へ戻ろう』キャンペーンでは 400 人の子どもたちが地域の大人に対して、教育を受けることの重要性を訴えました。

さらに 2017 年は国公立学校と協力して、小学校および中等教育校の生徒を対象に 6 日間のサマーキャンプを実施しました。このキャンプには計 200 人が参加し、普段の学校生活では体験できない造形や絵画などで表現力を磨き、ゲームなどを通して仲間と協力することを学びました。参加した子ども達は、道端で遊ぶだけのいつもの夏休みより有意義な経験ができた、夏休み後の学校生活がより楽しみになったと話してくれました。

＊CDP：(Community Development Project) グッドネーバーズが実施する地域開発プロジェクト

医療・保健 / 水・衛生

2017年の成果

医療・保健

保健医療システム強化
970,394 人

母子保健サービスの質向上
72,457 人

病気の予防・栄養改善
695,579 人

地域保健員活動支援
26,988 人

水・衛生

飲料水・衛生施設整備
220,880 人

浄水器等の衛生用品支援
136,986 人

衛生教育
98,475 人

水・衛生委員会活動支援
29,392 人

カンボジア　Cambodia

衣類の寄付が
カンボジアの給水施設に

グッドネーバーズ・ジャパンは、着なくなった衣類を換金し、世界の子ども支援に役立てる『リサイフク*』により、カンボジアで給水施設を作りました。

カンボジアのバッタンバン県にあるスマ・コールという地域では、過去 1 年間で 5 歳以下の子どもの 89% が、汚れた水などが原因とされる病気にかかりました。この地域の人々の多くが利用する湧き水にはゴミや動物のふん尿などが混ざっており、とても衛生的とは言えません。
グッドネーバーズ・ジャパンは、この地域のクロウス小学校に、電気がないこの村でも、太陽光の力で水を汲み上げることのできる「ソーラーポンプ」と手洗い場を設置し、トイレの修理を行いました。

完成した手洗い場やトイレは、生徒だけでなく村の住民も使うことができます。これによって、子どもたちの健康面でのリスクが軽減され、学ぶ・遊ぶといった子どもらしい生活を送るための大切な基盤を整えることができました。当設備は長く清潔に使い続けられるよう、グッドネーバーズの助言のもと、学校が管理していきます。

＊リサイフク：衣類などを寄付して国内でリユースし、世界の子ども達を支援できる取り組み。

“　このウォーターポンプは全ての生徒と教師にとって、とても大切なものになりました。十分な水が手に入り、水洗トイレと手洗い場を使うことができます。そのおかげで、衛生環境と健康も改善されてくると期待しています。”

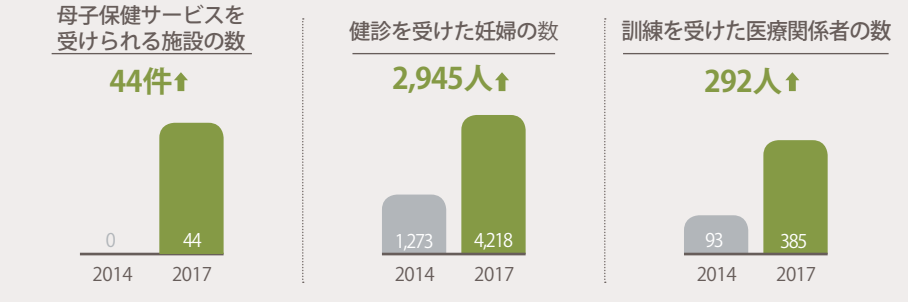
クイ・サローエン / クロウス小学校　校長

タンザニア　Tanzania

ママと赤ちゃんを守る
医療サービスの強化

タンザニアのキシャプ地域では基礎的な医療施設、特に妊婦が安全に出産できる設備や専門知識を持った人材が不足していました。
グッドネーバーズ・タンザニアは妊婦と赤ちゃんをはじめ、地域住民に質の良い保健サービスを提供できるよう、既存の保健医療設備を改修して医薬品や医療機材などを支援しました。また、分娩時の危機に対応する訓練を受けた地域保健員を養成し、キシャプ地域のママたちが安全に出産に臨めるしくみを作りました。

プロジェクト後の変化



収入向上支援

2017年の成果

共同組合に参加した家族

57,414 世帯

協同組合の数

1,040 社

キルギス共和国　Kyrgyz Republic

商品ブランド
「MERRY COOP」誕生

「メリーコープ（MERRY COOP)」はグッドネーバーズが、各国と地域の特性に合わせて開発している多様な商品ブランドです。それぞれの国の人々が作った製品の競争力を高め、流通と地域住民の自立を助けています。

2017 年にはモンゴルのトドゥイルツ組合のカシミア製衣料品とキルギス共和国プグエニェ組合のウール製コースターが発売されました。
販売収益は組合員の収入になるのはもちろん、原料や設備への投資・技術訓練などに使われました。「メリーコープ」は地域経済の活性化へ繋がることが期待されています。

グッドネーバーズは、このようなソーシャルエンタープライズ（社会的企業）と呼ばれる社会課題の解決を目的としたビジネスを通じて、地域の人々の収入向上と自立を支援しています。

“私達が作ったコースターを他の国の人に使ってもらえるなんて夢のよう！組合に参加してからは収入が増え、前より豊かな食卓で冬を越すことができます。何より「私たちもできる」という自信を得たことが最も大きい収穫です。”

キルギス共和国プグエニェ組合員

アドボカシー

2017年の成果

啓発キャンペーンの参加者
325,892 人

子どもの権利委員会の参加者
10,840 人

新規で出生登録をした子ども
93,451 人

政策懇談会開催数
186 回

政策提言書提出
39 件

法律や条例の改正
6 件

バングラデシュ　Bangladesh

グッドダディが
早婚問題解決のカギ

バングラデシュは早婚の割合が特に高い国のひとつで、59%の女の子が 18 歳以前に、22%の女の子が 15 歳以前に結婚させられています。（ユニセフ子供白書 2017）結婚できる年齢は 18 歳と法律で定められているのですが、多くの子どもたちは出生届が出されていないため、法律で子どもたちを守ることが難しいのです。

グッドネーバーズ・バングラデシュが展開する「グッドダディ・キャンペーン」は、早婚の解決のために父親が重要だということに気づき、発案されたものです。この運動に参加する父親は、早婚が生み出す問題点や影響を理解し、自分の娘が大人になるまで結婚させないことを約束します。両親だけでなく子どもや教師、地域の人々も参加し早婚や子どもの権利について学びました。

このキャンペーンには一年間で約 2 万 2,000 人が参加し、政府や多くのメディアから注目されました。その後この運動は全国へ波及し、40 人の早婚の危機にあった女の子たちを解放することにつながりました。

国内事業

Domestic

ちびっこおえかきコンテスト

過去最高の 1,840 人
の園児が参加

親子でチャレンジ国際理解！ちびっこおえかきコンテストは、未来を担う子どもたちが世界にふれるきっかけを作ることを目的に、発展途上国の問題について映像教材を見て絵を描くことで、親子で国際理解を深め、楽しく学べる教育プログラムです。

第五回の当コンテストには、過去最高の 1,840 人の子どもたちから、フィリピンのマークくんを応援する作品が集まり、2018 年 1 月 13 日に実施した審査会の結果、最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品、審査員賞 3 作品、企業賞 2 作品、GNJP 賞 1 作品、ベネッセこども基金賞 1 作品、団体賞 1 園、佳作 40 作品が選出されました。
最優秀賞は、ペットボトルなどの、売れるゴミを拾って生計を立てていたマーク君のお仕事を応援する絵を描いてくれた、たかがき　ゆりさんの作品です。上位 10 作品は 2018 年 5 月にマークくんのもとへ届けられました。

10 歳になったマークくんはグッドネーバーズの支援を受けて小学校 1 年生として学校に通い始めました。マークくんの母親はグッドネーバーズの支援で、養豚の技術研修に参加したり日用品のお店を開業したりして、子どもたちを育てるために前向きに頑張っています。

2017年の成果

参加園
101 園

集まった絵の数
1,840 作品

グッドごはん

こどもの
「ちゃんと食べたい」のために

「日本の子どもの 7 人に 1 人が貧困」
これはニュースでも大きく報じられてきました。この問題は、ひとり親家庭ではより深刻です。厚生労働省の調査[*1] では、日本国内のひとり親世帯の子どもの 2 人に 1 人にあたる 50.8% が貧困状態にあります。

グッドネーバーズ・ジャパンは 2004 年より国外の貧困や差別、教育の問題に取り組んで参りましたが、2017 年 9 月より新たに国内の子どもの貧困対策への取り組みとしてフードバンク事業「グッドごはん」を開始しました。
まずはこのひとり親家庭へ焦点をあて、「ひとり親家庭等医療費助成制度 (マル親) 医療証[*2]」を持つ家庭を対象に食品を提供しています。配布する食品は、全て企業や個人の方からの寄付によるものです。

「グッドごはん」を通して定期的に食品の無料配布を行うことで、子どもの健やかな成長を支え、生活に困難を抱える家庭が安定し自立した生活を送ることができるように支援しています。

＊1：平成 28 年国民生活基礎調査 / 厚生労働省
＊2：主に 18 歳未満の子どもを養育するひとり親家庭等で、所得が限度額未満の家庭に対する医療費の助成制度

2017年の成果

配付家庭累計（2017年9~12月）
252 世帯
配付家庭の子どもの人数（のべ）458人

配付した食品の金額（2017年9~12月）
5,115,143 円相当

“今までは、私が夕食を我慢して食費を減らせるよう頑張っていましたが、グッドごはんのおかげで私も食べられるようになりました。子どもに、「ママ、ごはん食べないの？」と聞かれると胸が痛かったですが、今では「おいしいね」と会話しながら食べています。”
利用者アンケートより

2018 年の人道支援

グッドネーバーズは自然災害や紛争などで、国際的な人道支援が必要とされる現場で緊急支援を実施し、子どもたちと地域住民が一日も早く元の生活を取り戻せるよう活動しています。昨年は、ロヒンギャ難民への緊急人道支援など 12 カ国で 198,164 人を対象に緊急支援を実施しました。

Humanitarian Assistance

自然災害

ハイチ(台風、コレラの蔓延)
プエトリコ(台風)

アジア

自然災害

ネパール(地震)
ラオス(洪水)
バングラデシュ(洪水)
ベトナム(洪水)
スリランカ(洪水)

復興支援

ネパール(地震)

難民支援・その他

バングラデシュ(ロヒンギャ難民)
フィリピン(防災の取り組み)

アフリカ

難民支援

チャド(南スーダン・ソマリア難民)
タンザニア(コンゴ・ブルンジ難民)
ケニア(南スーダン・ソマリア難民)

中南米

防災対策で自然災害による悲しみの悪循環を断ち切る（フィリピン）

グッドネーバーズは緊急支援を行う一方、自然災害のリスクと、それに対する社会的脆弱性の高い国を中心に防災訓練 (Disaster Risk Reduction) を実施して被害を最小化できるよう取り組んでいます。

フィリピンでは台風、洪水などの自然災害が毎年 20 回以上発生しており、2017 年だけでも地震や台風により約 80 万人が被災しました。グッドネーバーズは、人々が危険を速かに認識して身を守れるよう、避場場所と連絡網を整備し、また地域住民や子どもたちを対象に防災訓練も実施しました。

2017年の成果

自然災害	復興支援	難民支援
18,896 人	68,309 人	110,959 人

ロヒンギャ難民

難民の 58%は
18 歳以下の子どもでした

2017 年 8 月下旬以降、ミャンマーのラカイン州に暮らす少数民族ロヒンギャへの暴力行為が激化し、50 万人以上のロヒンギャの人々が隣国バングラデシュに逃れました。
難民流入の速度や規模が大きく、住宅・食料・水などの生きるための物資が絶対的に不足していました。

人々の基本的人権まで脅かされている状況と判断したグッドネーバーズ・ジャパンは緊急支援を決定し、11 月にスタッフを派遣しました。その後 2018 年 1 月にかけ調査・支援物資の調達を行い、バングラデシュのコックスバザール県ウキア郡にある 2 カ所の難民キャンプにおいて、避難生活を送る 2,400 世帯のロヒンギャの人々に衣類や日用品を配布しました。バングラデシュで最も気温の下がる 1 月から 2 月に向け、着の身着のままで避難してきた人々に温かい衣類も提供しました。

2017年8月ごろ逃げてきたロフィカさん(22)

「家を焼かれ、夫と子どもたちを連れて、難民キャンプにたどり着きました。夫は小学校の先生をしていたので、今ユニセフのラーニングセンターで教えています。ミャンマーには戻りたくありませんが、幼い子どもたちとの難民キャンプでの生活も大変です。夜は寒いので支援物資の毛布がありがたかったです。」

毛布や防寒着、蓋付きのバケツなどを配付

「蓋がきちんと閉まるから虫やネズミが入らなくて良いです」
この女性は、受け取った35リットルの蓋付きバケツを米びつとして使っていました。

ネパール地震（復興支援）

被災地に耐震設計された
小中学校を再建

2015 年 4 月 25 日にネパール中部で発生した地震の復興支援として実施していた、小中学校の再建事業が 2018 年 5 月に終了しました。

およそ 8,900 名が亡くなり、倒壊家屋 60 万棟という甚大な被害をもたらしたこの地震において、グッドネーバー ズ･ジャパンは『公共水道の修理事業』や『仮設トイレ設置事業』を行い、被災者の生命線ともなる水や衛生環境の改善を支援してきました。
そしてその過程で多くの子どもたちが、学ぶ環境としては不十分な仮設教室で勉強していたり校舎の倒壊によって学校に通えなくなっている状況を目の当たりにしました。

再建したのは、ガンダキ県パルバト郡のハルハレ小中学校 (Halhale basic school) です。ここには 1 年生から 8 年生までの子どもたちが通う他、未就学児クラスもあります。ハルハレ小中学校では、地震により 2 棟が全壊、残りの 2 棟は半壊し、当時通っていた 92 名の子どもたちが学べる環境ではなくなってしまいました。PTA などの努力により、何とか竹とブルーシートで仮設教室を作りましたが、この仮設教室では隣のクラスの声が聞こえる上、雨の日はシートにたたきつける雨音で教師も生徒も授業に集中できない日々が続き、生徒の出席率も減っていました。

そこでグッドネーバーズ・ジャパンは、2016年2月より校舎の再建事業を開始し、2018年5月に完了しました。新しい校舎は以前のようなレンガ造りではなく、耐震設計された鉄筋コンクリート製です。学校・PTAはもちろん、郡の教育委員会や村の開発委員会など地域の組織が一丸となって作ったこの学校は、校舎の引き渡し後も地域住民で管理できるようになっています。

＊※この事業は赤い羽根共同募金の助成によって実施されました。

会計報告

グッドネーバーズ・ジャパン

2017 年度収支計算書（2017 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日）

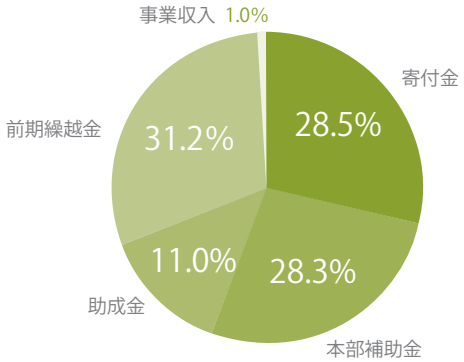
（単位：円）

Ⅰ　経常収入の部		
寄付金収入		37,979,189
助成金等収入		52,444,724
助成金収入	14,667,092	
グッドネーバーズ本部補助金収入	37,777,632	
事業収入		1,402,956
その他収入		521
経常収入合計		91,827,390
Ⅱ　その他資金収入の部		
計上外収益（為替差益・雑収入）		43,207
前期繰越金		41,582,399
収入合計		133,452,996

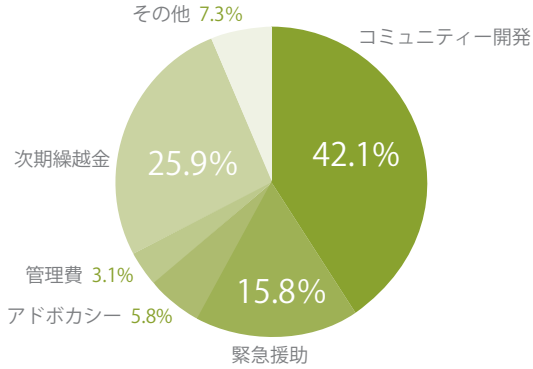
支出の部

Ⅲ　経常支出の部		
1　事業費		
(1)開発途上国等の子ども達並びにその家族および地域社会のための地域開発支援事業	20,379,022	
(2)開発途上国等における、大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援	21,007,897	
(3)地域開発支援事業への支援者と、開発途上国の子ども達ならびにその家族および地域社会との間の相互理解の促進	10,124,870	
(4)国際協力に対する日本の人々の理解を深める啓発事業	7,744,874	
(5)国際協力に参加する機会を広く日本の人々に提供する普及活動	25,686,662	
寄附された物品を含む物品の販売事業	544,590	
ホームページ・会報等への広告掲載事業	28,662	
事業費合計		85,516,577
2　管理費		4,178,470
経常支出合計		89,695,047
Ⅳ　その他資金支出の部		
法人税、住民税および事業税		70,079
計上外費用（為替差損）		23,141
退職給付費用		9,050,000
次期繰越金		34,614,729
支出合計		133,452,996
当期収支差額		0

2017 年度収入合計　133,452,996 円



2017 年度支出合計　133,452,996 円



貸借対照表(2017年12月31日現在)

（単位：円）

Ⅰ　資産の部		
1　流動資産		
現金預金	15,102,820	
未収金	3,018,811	
商品	254,094	
貯蔵品	142,803	
寄付物資	421,746	
仮払金	0	
緊急支援等事業特定資産	17,964,282	
流動資産合計		36,904,556
2　固定資産		
敷金	803,500	
固定資産合計		9,853,500
資産合計		46,758,056

Ⅱ　負債の部		
1　流動負債		
未払金	2,518,206	
預り金	505,121	
未払法人税等	70,000	
流動負債合計		3,093,327
2　固定負債		
固定負債合計		9,050,000
負債合計		12,143,327
Ⅲ　正味財産の部		
前期繰越正味財産		41,582,399
当期正味財産増減額		△ 6,967,670
正味財産合計		34,614,729
負債及び正味財産合計		46,758,056

監査報告書

役員

代表理事：　福井　玲（東京大学教授）
副代表理事：　窪　誠（大阪産業大学教授）
常務理事：　小泉　智（グッドネーバーズ・ジャパン事務局長）
理事：　韓　福相（大阪産業大学教授）
　　李　健泳（新潟大学教授）
　　李　一夏（元グッドネーバーズ・インターナショナル会長）
監 事：　小林　貴（株式会社奈良屋代表取締役）
法務顧問：　金子　憲康（弁護士）
財務顧問：　さくら会計事務所
労務顧問：　浅井　浩次（特定社会保険労務士）

Accountability Self-Check 2012

これは、JANIC の「アカウンタビリティセルフチェック 2012」マークです。JANIC のアカウンタビリティ基準の 4 分野（組織運営・事業実施・会計・情報公開）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

Financial Overview

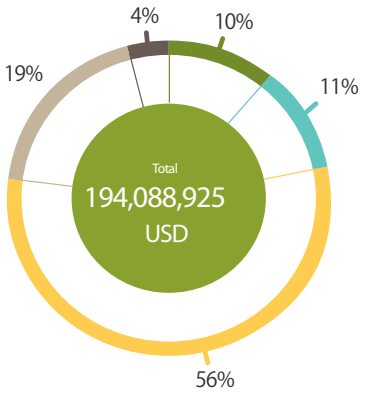
グッドネーバーズ・インターナショナル

Income & Expenditure

Category			Total(USD)	%
Income	Contributions	Donations	19,327,083	10%
		Gift in Kind	22,166,645	11%
		Sponsorship	107,963,517	56%
	Grants		36,068,721	19%
	Other Revenues		8,562,959	4%
	Total		194,088,925	100%
Expenditure	Program Expenses	International Humanitarian Development Project	94,978,786	49%
		Child Rights Protection in Korea	69,008,172	36%
	Administration and Fundraising Expenses		15,517,035	8%
	Reserve Fund for 2018		14,584,932	7%
	Total		194,088,925	100%

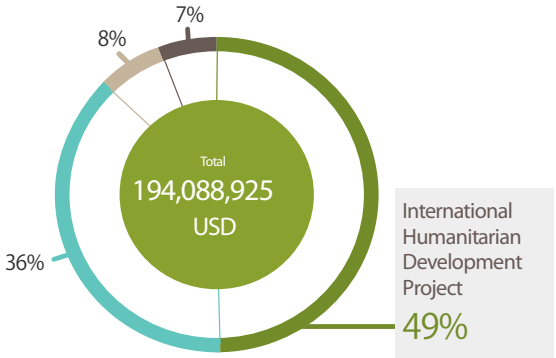
Income Source

- Donations
- Gift in Kind
- Sponsorship
- Grants
- Other Revenues



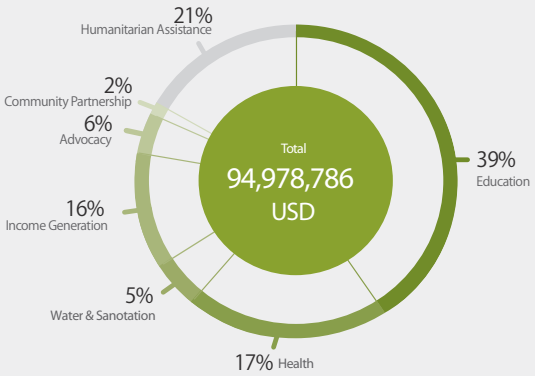
Expenditure by Activity

- International Humanitarian Development Project
- Child Rights Protection in Korea
- Administration and Fundraising Expenses
- Reserve Fund for 2018



Expenditure on International Humanitarian Development Project by Sector

- Education
- Health
- Water and Sanitation
- Income Generation
- Advocacy
- Community Partnership & Network Building
- Humanitarian Assistance



VISION

子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会

MISSION

国内外のパートナーと共に、貧困及び差別の原因や
災害・紛争による脅威を取り除く

認定NPO法人　グッドネーバーズ・ジャパン
〒143-0016 東京都大田区大森北 2-14-2 大森クリエイトビル3階
TEL:　03-6423-1768　FAX:　03-6423-1766　E-mail:　admin@gnjp.org
HP:　www.gnjp.org　Twitter:　@GNJapan　Facebook:　facebook.com/gnjapan